

令和4年度食品技術シンポジウム

食品科学×SDGsによる地域活性化

社会環境は、世界人口の増加や地球温暖化という世界規模の大きな課題に直面しています。そんな中、SDGsは、現在企業に求められている様々な変革とイノベーションを先取りしており、食品産業においても、SDGsを経営戦略に取り込み、ビジネスを通じた社会的課題の解決を目指す動きが活発化してきています。

事業を100年先も継続するためには、社会で求められていることに応える必要があります。今後、限られた資源を有効利用するためにも、食用廃棄物の利用や食品ロスの現状についての理解を深め、食品関連企業が協業することにより新たな市場を創出できる可能性を広げていきましょう。

開催日 令和5年3月13日（月）13：30～16：50

参加費無料！

開催場所 ラヴィール岡山（岡山市北区駅元町1-10）

開催方法 ハイブリッド形式（会場とZoom併用）

※申込締切 3月9日（木）

◆プログラム◆ 開会挨拶 13：30～13：35

講演① 13：35～14：30

講師 岡山大学 工学部 教授 木村 幸敬 氏

演題 『廃食用油からの乳酸生産プロセスの開発』

＜概要＞ 環境負荷の小さい化学プロセスを用いた食品廃棄物からの有用物質生産について



講演② 14：35～15：05

講師 中四国農政局 経営・事業支援部 食品企業課 課長補佐 渡辺 頼夫 氏

演題 『食品ロス及びリサイクルをめぐる情勢』

＜概要＞ 食品ロス・食品リサイクルの現状や取組について



事例紹介② 15：10～15：40

講師 株式会社林原 フードシステムソリューションズ部門 営業統括部 内田 幸信 氏

演題 『県内食品関連企業による地域活性化に向けた取組事例について』

＜概要＞ 地域活性化に向けた県内食品関連企業による取組事例紹介

パネルディスカッション 15：50～16：50

テーマ 『食品科学×SDGsによる地域活性化』

コーディネータ 中村 宜督 氏 岡山大学大学院 環境生命科学研究科 教授

パネラー 木村 幸敬 氏 岡山大学 工学部 教授

渡辺 頼夫 氏 中四国農政局 経営・事業支援部 食品企業課 課長補佐

内田 幸信 氏 株式会社林原 フードシステムソリューションズ部門 営業統括部

小林 謙一 氏 ノートルダム清心女子大学 人間生活学部 食品栄養学科 教授

【主催】岡山県食品新技術応用研究会、公益財団法人岡山県産業振興財団

【後援】特定非営利活動法人 中国四国農林水産・食品先進技術研究会（略称 中四国アグリテック）
岡山県工業技術センター、岡山県食品産業協議会、おかやまバイオアクティブ研究会

【お問い合わせ・お申込み】

公益財団法人岡山県産業振興財団 ものづくり支援部研究開発支援課 勝野・宮地

TEL 086-286-9651 FAX 086-286-9676 E-mail sangaku@optic.or.jp

URL https://www.optic.or.jp/okayama-ssn/event_detail/index/2794.html